

科目名	L i n u x 実習 2							年度	2024
英語科目名	Linux System Practice 2							学期	後期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科	1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※
担当教員	蛇名	教員の実務経験	無	実務経験の職種					

【科目の目的】

「Linux実習1」と「Linux実習2」を履修することで、ネットワーク利用で各種サービスを提供するサーバーで利用されることが多いOS（オペレーティングシステム）であるLinuxの特徴や利点を知り、実際にLinuxを使うための環境構築および運用方法について理解し、具体的なコマンド操作ができる技術力の習得を目指します。また、授業では1つのディストリビューションを使用しますが、それ以外のディストリビューションとの違いについても学びます。

【科目の概要】

LinuxOSの管理やシェルスクリプトなどを学びます。 ※下記記載内容は、「Linux実習1」「Linux実習2」両科目に対応する内容にな

【到達目標】

- A. Linuxのインストールと利用環境の構築ができる
- B. 一般利用者としてのコマンド操作ができる
- C. 管理者としてのコマンド操作ができる
- D. 高度なコマンド操作ができる
- E. シェルスクリプトの作成とその活用ができる

【授業の注意点】

実機を操作することで身につける必要があるため、積極的に実習に取り組む姿勢を重視する。また、規律ある授業を行うため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。当然であるが、理由のない遅刻や欠席は認めない。また、ノートパソコンは必携であり、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力
到達目標 A	さらに発展的なLinuxの インストールと利用環 境の構築ができる	与えられた仕様をもと にLinuxのインストールと 利用環境の構築ができる	Linuxのインストールと 利用環境の構築ができる	Linuxのインストールと 利用環境の構築時に発 生するエラーの対応が できない	Linuxのインストールと 利用環境の構築ができ ない
到達目標 B	さらに発展的な一般利 用者としてのコマンド 操作ができる	与えられた仕様をもと に一般利用者としての コマンド操作ができる	一般利用者としてのコ マンド操作ができる	一般利用者としてのコ マンド操作時に発生す るエラーの対応ができ ない	一般利用者としてのコ マンド操作ができない
到達目標 C	さらに発展的な管理者 としてのコマンド操作 ができる	与えられた仕様をもと に管理者としてのコマ ンド操作ができる	管理者としてのコマ ンド操作ができる	管理者としてのコマ ンド操作時に発生す るエラーの対応ができ ない	管理者としてのコマ ンド操作ができない
到達目標 D	さらに発展的な高度な コマンド操作ができる	与えられた仕様をもと に高度なコマンド操作 ができる	高度なコマンド操作が できる	高度なコマンド操作時 に発生するエラーの対 応ができない	高度なコマンド操作が できない
到達目標 E	さらに発展的なシェル スクリプトの作成とそ の活用ができる	与えられた仕様をもと にシェルスクリプトの 作成とその活用ができる	シェルスクリプトの作 成とその活用ができる	シェルスクリプトの作 成とその活用時に発生 するエラーの対応がで きない	シェルスクリプトの作 成とその活用ができな い

【教科書】

新しいLinuxの教科書 (SBクリエイティブ)

【参考資料】

別途 講義資料を配布

【成績の評価方法・評価基準】

授業中に実施する演習への取り組み状況、および出席状況などを総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		L i n u x 実習 2			年度	2024
英語表記		Linux System Practice 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法 自己評価
1	Linuxの概要と実習環境の構築	Linuxの概要を把握し、その実習環境を構築できる	1 Linuxの概要	Linuxの特徴などを知る	1,2	
			2 仮想環境の構築	VirtualBoxによる仮想環境が構築できる		
			3 実習環境の構築	CentOSでLinuxの実習環境が構築できる		
2	シェルの概要とその機能	シェルの概要を把握し、その便利な機能を活用できる	1 シェルの概要	シェルの役割や種類を知る	1,2	
			2 コマンドライン	コマンドラインの編集操作ができる		
			3 便利な機能	補完機能やコマンド履歴が活用できる		
3	ファイルとディレクトリ	ファイルとディレクトリを理解し、lsなどコマンド操作ができる	1 ディレクトリ構造	階層構造とパスの指定方法を理解する	1,2	
			2 ディレクトリの移動	cd, pwdコマンド操作ができる		
			3 lsコマンド	lsコマンドの表示内容を理解できる		
4	ファイル操作の基本	ファイルとディレクトリを操作する基本コマンド群を利用できる	1 ディレクトリ操作	ディレクトリを操作するコマンドが使える	1,2	
			2 ファイル操作	ファイルを操作するコマンドが使える		
			3 リンク	ハードリンク、シンボリックリンクが使える		
5	テキストエディタ	テキストエディタvimを使ってテキストファイルの編集ができる	1 ファイル保存	vimでテキストファイルの作成保存ができる	1,2	
			2 編集操作	テキストファイルの編集操作ができる		
			3 その他操作	コピー＆ペーストや検索・置換機能が使える		
6	パーミッションとスーパーユーザ	パーミッションを設定でき、スーパーユーザの役割を理解する	1 bashの設定	bashの設定変更ができる	1,2	
			2 ファイルパーミッション	ファイルやディレクトリのアクセス権の設定ができる		
			3 スーパーユーザ	rootの権限を知り、その利用ができる		
7	プロセスとジョブ	プロセスとジョブの意味を理解し、コマンド操作ができる	1 プロセス	プロセスについて理解し、その状況確認ができる	1,2	
			2 ジョブ	ジョブについて理解し、その状況確認ができる		
			3 ジョブの状態遷移	ジョブの状態遷移が管理できる		
8	標準入出力とパイプライン及びテキスト処理	標準入出力を理解し、ディレクトやパイプラインの機能が活用できる	1 標準入出力	標準入出力の概要を知る	1,2	
			2 パイプライン	リダイレクト及びパイプラインの機能が使える		
			3 テキスト処理	基本的なテキスト処理コマンドが使える		
9	正規表現	正規表現を理解し、それをを使ったテキスト処理ができる	1 grepコマンド	grepコマンドを使って文字列検索ができる	1,2	
			2 正規表現	正規表現の概要を知る		
			3 grepと正規表現	grepで正規表現を使った文字列検索ができる		
10	高度なテキスト処理	高度なテキスト処理を行うコマンドが利用できる	1 sedコマンド	sedコマンドでテキスト処理ができる	1,2	
			2 awkコマンド	awkコマンドでテキスト処理ができる		
			3 CSVファイル処理	awkコマンドでCSVファイル処理ができる		
11	シェルスクリプトの基礎①	シェルスクリプトを理解し、そのファイルを作成できる	1 シェルスクリプトの概要	シェルスクリプトの概要を知る	1,2	
			2 シェルスクリプトの作成	シェルスクリプトの作成手順を知る		
			3 シェルスクリプトの基本	シェルスクリプト作成の基本を知る		
12	シェルスクリプトの基礎②	シェルスクリプトで変数、パラメータ、if文、演算子が利用できる	1 変数・パラメータ	変数、パラメータが利用できる	1,2	
			2 if文	if文を使った分岐処理が作成できる		
			3 演算子	各種演算子を知り、その利用ができる		
13	シェルスクリプトの基礎③	シェルスクリプトでfor文、while文、関数が利用できる	1 for文	for文を使った繰り返し処理が作成できる	1,2	
			2 while文	while文を使った繰り返し処理が作成できる		
			3 シェル関数	シェル関数の作成・利用ができる		
14	シェルスクリプトの活用	実践的なシェルスクリプトの作成ができる	1 演習 1	日記を書くためのシェルスクリプトが作成できる	1,2	
			2 演習 2	指定したパス配下のファイル一覧表示ができる		
			3 演習 3	検索コマンドシェルスクリプトが作成できる		
15	アーカイブと圧縮及びソフトウェアパッケージ	アーカイブと圧縮及びソフトウェアパッケージ関連のコマンドを学ぶ	1 アーカイブ	アーカイブを行うコマンドが使える	1,2	
			2 圧縮	圧縮を行うコマンドが使える		
			3 ソフトウェアパッケージ	ソフトウェアパッケージのインストールができる		

評価方法 : 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価 : S : とてもよくできた、A : よくできた、B : できた、C : 少しうまくなかった、D : まったくできなかった

備考 等